



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 monoAI technology株式会社

上場取引所 東

コード番号 5240 URL <https://monoai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本城 嘉太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松岡 壮

TEL 03 (6273) 2753

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	133	△67.8	△143	-	△140	-	△144	-
2025年12月期第1四半期	415	3.7	△8	-	△6	-	△21	-

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △144百万円 (-%) 2025年12月期第1四半期 △21百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△11.77	-
2025年12月期第1四半期	△1.79	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,235	1,079	87.4
2025年12月期	1,415	1,224	86.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,079百万円 2025年12月期 1,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年12月期	-	-	-	-	-
2026年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	858	△12.4	△267	-	△263	-	△291	-	△23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	12,265,280株	2025年12月期	12,264,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	ー株	2025年12月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	12,264,832株	2025年12月期 1 Q	12,260,507株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、インバウンド増加と国内需要の回復による社会経済活動の正常化が進み、緩やかに回復してまいりました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、物価の高騰を背景とした生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは「先進技術で社会の未来を創造する。」を企業理念に掲げ、オンラインゲーム開発で培った大規模通信技術とAI技術をコアとして、あらゆる産業のデジタルトランスフォーメーション

(DX)を支援するXR事業を展開しています。メタバースプラットフォーム「XR CLOUD」をOEM提供し、クライアント独自のメタバースを構築するメタバースサービス、「XR CLOUD」上で社内イベントや展示会、各種カンファレンス等のクライアントの要望に沿った多様なイベントを企画・制作・運営するXRイベントサービスに加え、「XR CLOUD」に限らず、AI技術を用いた企業の自律的な業務遂行の支援など、XR全体の幅広いニーズに応えるXR周辺サービスを提供してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高133,795千円、営業損失143,198千円、経常損失140,481千円、親会社株主に帰属する四半期純損失144,394千円となりました。

なお、当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,235,002千円(前連結会計年度末比180,333千円減)となりました。

流動資産は1,171,566千円(前連結会計年度末比176,111千円減)となりました。主な減少要因は、「現金及び預金」が、172,547千円減少したことによるものであります。

固定資産は63,435千円(前連結会計年度末比4,221千円減)となりました。減少要因は、「投資その他の資産」が4,221千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は155,194千円(前連結会計年度末比35,941千円減)となりました。

流動負債は122,232千円(前連結会計年度末比32,003千円減)となりました。主な減少要因は、「賞与引当金」が13,481千円減少したこと、「その他流動負債」が21,882千円減少したことによるものであります。

固定負債は32,962千円(前連結会計年度末比3,938千円減)となりました。主な減少要因は、「長期借入金」が4,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,079,807千円(前連結会計年度末比144,391千円減)となりました。主な減少要因は、「利益剰余金」が144,394千円減少したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当第1四半期連結会計期間末は87.4%であります。また、支払い能力を示す流動比率は、958.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画通りに進捗していることから、2026年2月13日開示の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2025年12月期において、3期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。また、継続的な営業キャッシュ・フローのマイナスも計上しております。

当該事象により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するため当社グループは、創業社長の本城嘉太郎が代表取締役社長に復帰する新経営体制へ移行し、収益獲得の拡大および早期の営業黒字化に向けた構造転換を強力に推進しております。具体的には、2025年12月期に実施した不採算事業の整理や内製化の徹底、販管費の抑制といったコスト構造改革により、収益基盤の整備に一定の目途が立ちました。2026年12月期においては、これを基盤として、独自開発のAIエージェント基盤「monoAI Agent」を核とした「産業AXソリューション」の外部販売を第1四半期より開始しており、高付加価値なサービスの提供を通じた売上総利益率の向上とトップラインの回復に注力してまいります。あわせて、組織的な営業・マーケティング体制の刷新を断行し、案件の大型化を推進することで、安定的な収益構造の確立を目指してまいります。

なお、資金繰りについては、現金及び預金残高は1,016,356千円と十分であることに加え、取引金融機関とは良好な関係を維持しており、今後1年間の資金繰りに懸念はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,903	1,016,356
売掛金及び契約資産	109,206	123,973
仕掛品	1,165	—
その他	48,403	32,458
貸倒引当金	—	△1,221
流動資産合計	1,347,678	1,171,566
固定資産		
投資その他の資産	67,656	63,435
固定資産合計	67,656	63,435
資産合計	1,415,335	1,235,002
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,751	3,994
1年内返済予定の長期借入金	9,600	10,400
未払法人税等	4,126	3,249
未払消費税等	1,591	4,786
賞与引当金	13,481	—
その他	121,685	99,802
流動負債合計	154,235	122,232
固定負債		
長期借入金	13,600	9,600
資産除去債務	23,300	23,362
固定負債合計	36,900	32,962
負債合計	191,136	155,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,011	50,012
資本剰余金	1,510,319	1,510,320
利益剰余金	△336,159	△480,554
株主資本合計	1,224,171	1,079,779
新株予約権	27	27
純資産合計	1,224,199	1,079,807
負債純資産合計	1,415,335	1,235,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	415,576	133,795
売上原価	238,727	103,715
売上総利益	176,849	30,079
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	1,221
その他	185,610	172,056
販売費及び一般管理費合計	185,610	173,278
営業損失(△)	△8,761	△143,198
営業外収益		
受取利息	654	1,284
受取家賃	1,417	1,711
その他	70	7
営業外収益合計	2,142	3,002
営業外費用		
支払利息	263	118
消費税差額	—	167
営業外費用合計	263	285
経常損失(△)	△6,882	△140,481
特別損失		
減損損失	13,768	2,816
特別損失合計	13,768	2,816
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,651	△143,298
法人税、住民税及び事業税	1,309	1,096
法人税等合計	1,309	1,096
四半期純損失(△)	△21,960	△144,394
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,960	△144,394

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△21,960	△144,394
四半期包括利益	△21,960	△144,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,960	△144,394
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	999千円	152千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日 至2025年3月31日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日 至2026年3月31日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。